



▲越生小学校 ひだかあいら 日高愛梨 議員

私は越生町をよくするために、子育て世帯の支援を増やすことを考えます。そこで親御さん同士で相談できる機会や場所の提供をすることや安心して預けられる保育園を作ることが大切だと考えます。

【答弁】

越生町では子どもや保護者が、心配ごとを気軽に相談できる場所として「子ども家庭総合支援拠点」を子育て支援課の中につくりました。ここには相談室もあります。そのため、子育てに悩みを抱える保護者の方に利用してもらうことで、虐待や育児放棄のリスクを防ぐことができると考えます。保育園の透明性については、新型コロナウイルスの感染症により保育園の保護者参加の行事が減ってしまいましたが、現在では行事も以前のように実施できるようになってきています。今後はご提案のとおり、保護者会役員さんと話し合いながら、透明性のある保育園を目指していきたいと考えています。

私は越生町をよくするために、事故をなくす町、安全な町にしていく必要があると考えています。越生町では道幅が狭かったり、ガードレールがない道があったりと、事故がおこる可能性が高い道がたくさんあると感じています。そのため、ガードレールや歩道をつけることを提案します。

【答弁】

ご提案のとおり危険箇所への安全性を高めるには「ガードレール」や「歩道の整備」は有効であり重要であると考えます。しかし、場所によっては家をどかしたり、橋を架け直したりする必要があるだけでなく、そこが県道や鉄道であったりする場合もあります。

そのようなことから、埼玉県が主体となって、「地区通学路安全検討委員会」をつくり、学校関係者や保護者の方からの聞き取りを行ってみなさんが安心して通行できる道路にしていく必要があると感じます。



▲越生小学校 しまださくら 島田桜花 議員



▲梅園小学校 やまさきひなこ 山崎陽南子 議員

私は越生町をよくするために、小学生や中学生などの若者と高齢者の方が一緒に遊んだり、話したりする機会ができたかと考えています。そうすることで、若者が町に関心を持つだけでなく、伝統なども受け継ぐ機会になると思います。

【答弁】

現在、越生町では、高齢化率が38.5%と高く、約3人に1人が高齢者となっています。また、新型コロナウイルスの影響によりイベントや交流の機会が減ってしまいました。現在、越生町では若者と高齢者が定期的にふれあうイベントはありません。そのため、体育館などで昔の遊びを教えてもらうイベントを開催するのはいかがでしょうか。そうすることで、越生町の歴史を知り、伝統を受け継ぐ良い機会になるのではないのでしょうか。

令和5年度 越生町 子ども議会

令和5年12月20日に越生町役場議場に子ども議会を開催しました。

議長を梅園小学校6年生の大野結那さんが務め、総議員75人、代表6人の子ども議員による質疑が行われました。また、答弁には各担当課長が務め、全体で約2時間にわたり行われました。子どもたちは緊張した様子ではありましたが、大きな声で自分たちの意見を発表してくれました。



▲梅園小学校 おおのゆな 大野結那 議長



▲越生小学校 はたなかももこ 畑仲間々子 議員

私は越生町をよくするために、少子高齢化を食い止めることが大切だと考えます。そこで私は保育園や小中学校の給食費や教材費の無償化を提案します。

【答弁】

越生町では人口維持のため、18歳以下の医療費無償化や空き家バンク制度の活用、町PR動画の作成などの対策を行ってきました。これまで保育園や幼稚園、学校の給食費の無償化も期間限定で行ってきましたが、来年度からはご提案のとおり、給食費を完全に無償化し、子育て世帯を支援していきたいと考えています。



▲越生小学校 かみりょうたける 上領建瑠 議員

僕は越生町をよくするために、越生小学校のグラウンドをきれいに使いやすくすることが大切だと考えます。今のグラウンドは乾きが悪く、少しでも雨が降ってしまうと1日、2日練習ができなくなってしまいます。また、砂利や石が多くあり、危ないと感じることがあるため、子どもから大人までが安心して使えるグラウンドにすることを提案します。

【答弁】

質問にあったとおり、2019年の台風により、越生小学校のグラウンドは大きな被害を受けました。そのためグラウンドの改修を行いたいのですが、工事には数千万円かかってしまいます。したがって、越生町では工事に取り掛かるのが難しいのが現状です。しかし、越生小学校や関係の皆様方で力を合わせることから始めていくことが大切だと考えております。そこでどんなことをしていく必要があるのか、皆様で話し合ってください、教育委員会と相談していきましょう。